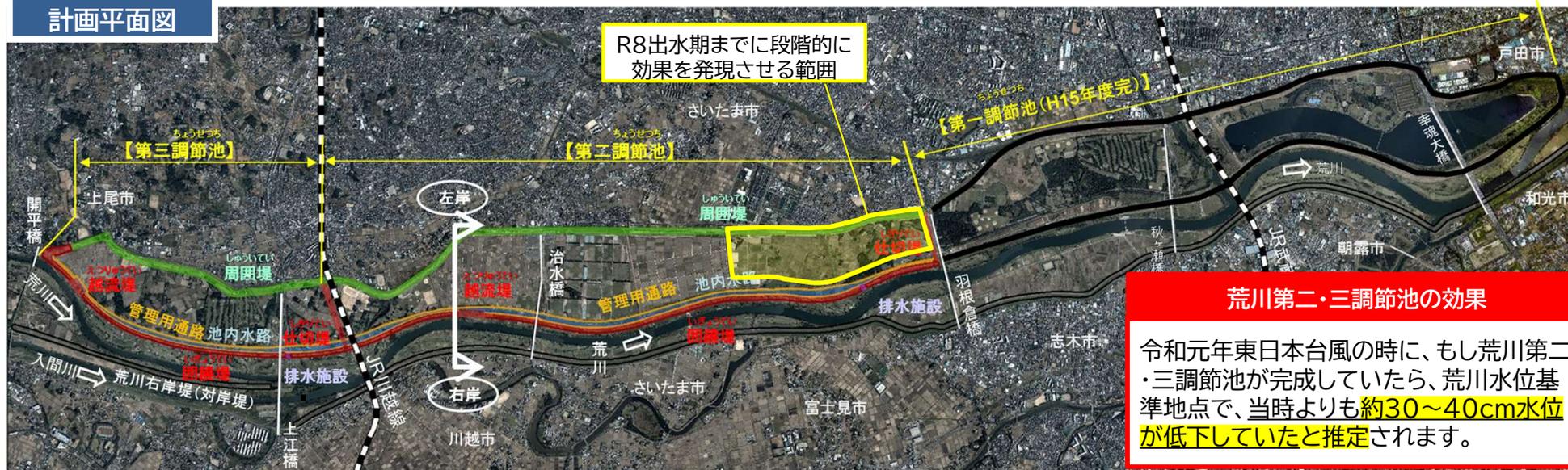


荒川第二・三調節池の概要

- 埼玉県南部・東京都を貫流する荒川は、沿川の土地利用が高度に進展し、また下流部はゼロメートル地帯が広がっていることから、一度氾濫すると甚大な被害が生じるおそれがある
- このため、第一調節池の整備に続き、平成30年度から荒川中流部に、荒川調節池群(荒川第二・三調節池)を整備し、河道のピーク流量を低減し、調節池より下流の広範囲において治水安全度の向上を図る

計画平面図



荒川第二・三調節池の効果

令和元年東日本台風の時に、もし荒川第二・三調節池が完成していたら、荒川水位基準地点で、当時よりも約30~40cm水位が低下していたと推定されます。

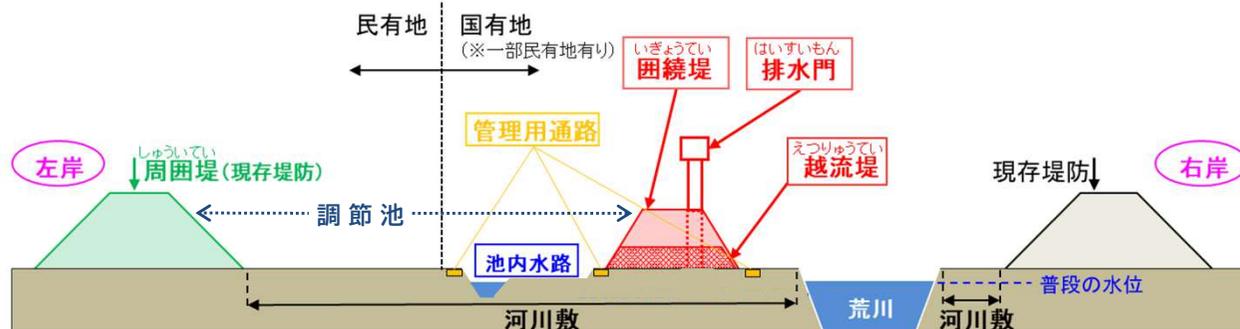
事業の内容

- 場所
埼玉県さいたま市、川越市、上尾市
- 全体事業費
約1,670億円
- 事業期間
平成30年度～令和12年度(13年間)
- 事業内容
 - ・荒川第二・三調節池の整備
洪水調節容量 約5,100万 m^3
(第二:約3,800万 m^3 、第三:約1,300万 m^3)
 - ・JR川越線荒川橋りょう改築
 - ・荒川右岸堤(対岸堤)の整備

断面図(イメージ)

注)堤防、越流堤、排水施設などの位置や幅については検討中のものであり、確定しているものではありません。

調節池の断面(上流から下流に見た図)



注)この図は、調節池の関係施設を分かりやすく示したイメージ図であり、実際とは異なります。

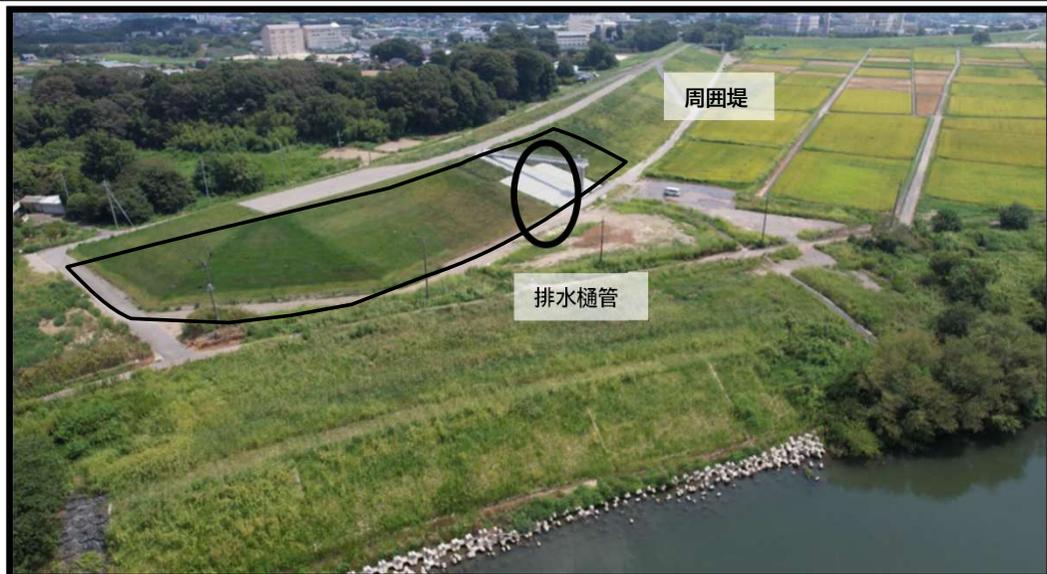
現在の工事状況(令和8年3月1日時点)

【荒川第二調節池】

令和4年12月より排水門及び囲繞堤整備等を実施し、令和8年出水期までに約1,200万m³の洪水調節容量を確保し、段階的な効果発現を目指し施工中（第一調節池3,900万m³と併せ約5,100万m³の洪水調節容量を確保(現況より約1.3倍)

【荒川第三調節池】

令和4年11月より排水樋管及び周囲堤整備を実施し、当該工区は令和7年8月に完成
令和8年度末に第三調節池付近のゴルフ場占用地が返還されることを踏まえ、当該エリアでの整備推進予定



整備状況図



現在の工事状況 (さいたま市桜区)

位置図



さいたま市桜区 荒川第二調節池排水門及び囲繞堤新設工事



第二調節池 囲繞堤

浦和野球場
グラウンド



浦和野球場
グラウンド

工事着手前(令和3年10月)



第二調節池 排水門

現状(令和8年3月)

現在の工事状況（上尾市平方区）

位置図



上尾市 平方地区 排水樋管及び堤防新設工事



工事着手前(令和4年5月)

工事完了(令和7年9月)

現在の工事状況 (荒川第二調節池)

R8.2時点

